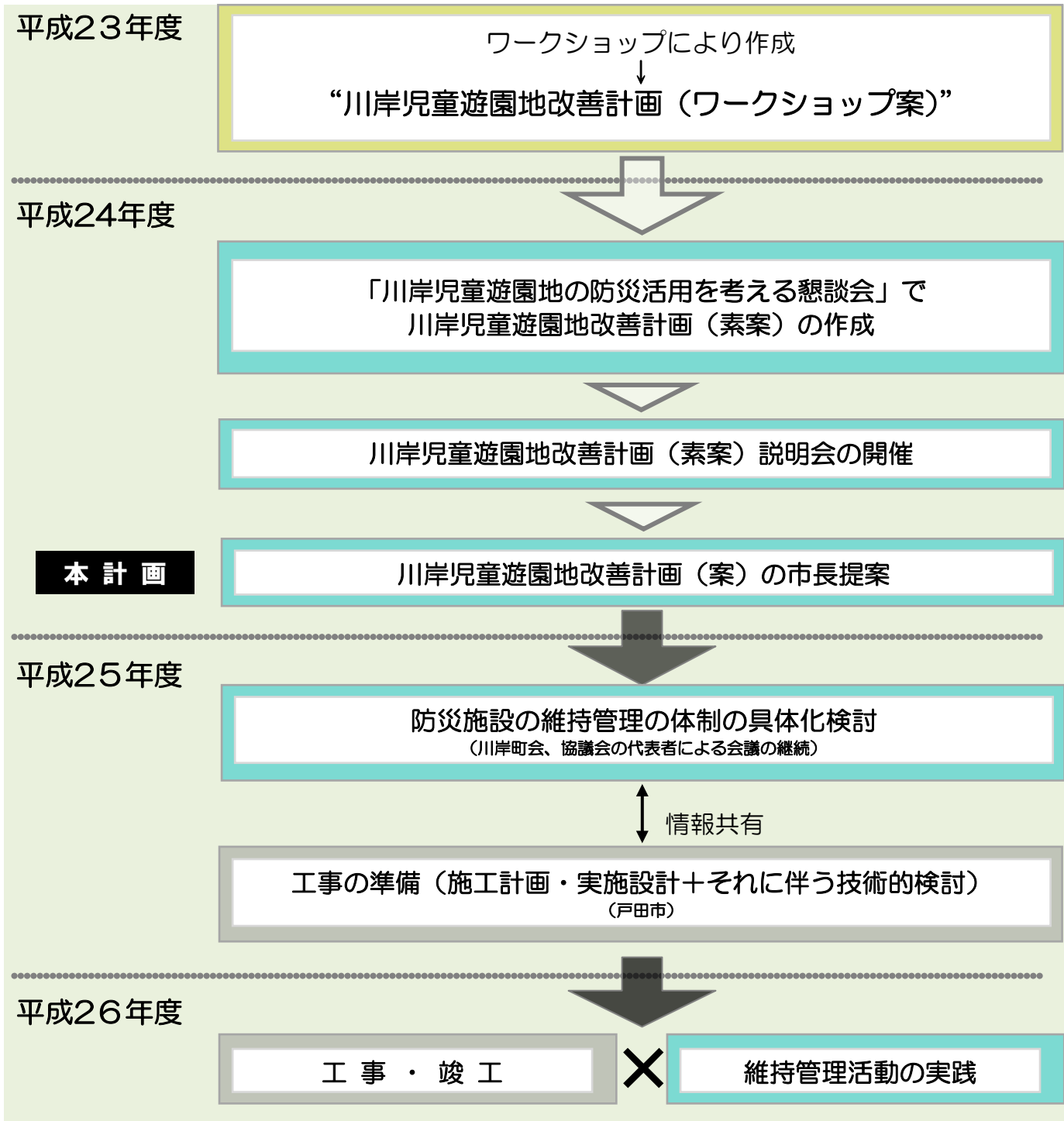


新しい川岸児童遊園地の完成までの流れ

※ 川岸児童遊園地改善計画（素案）説明会を踏まえ、今年度中に川岸児童遊園地改善計画（案）の市長提案を行います！



川岸地区まちづくり推進協議会では、随時メンバーを募集しています！

～お問合せは、下記にお願い致します～

- ◆川岸地区まちづくり推進協議会 048-441-5000 会長：長坂 信人
- 048-442-3035 総務会長：瀬谷 行雄
- ◆戸田市役所都市整備課（担当：上田・駒崎） 048-441-1800 内線 321

編集協力：（株）マヌ都市建築研究所

安全でうるおいとふれあいのある住みよいまちづくり

37

まちづくりニュース かわぎし

2013年2月
発行：川岸地区まちづくり推進協議会

川岸児童遊園地改善計画（素案）説明会を開催します！

川岸地区まちづくり推進協議会では、平成23年度に川岸児童遊園地改善計画（ワークショップ案）を作成し、今年度は新しい公園の維持管理に関する検討を行ってきました。

また、川岸町会にご協力をいただき、「川岸児童遊園地の防災活用を考える懇談会」を2回開催し、公園の維持管理について今後も継続して川岸町会と共に検討していくことを確認しました。

これまでの議論を踏まえ、市長への提言に向けて、「川岸児童遊園地改善計画（素案）説明会」を開催いたします。多くの方にご参加いただき、新しくなる地域の公園の計画について知っていただきたいと考えております。



写真：川岸児童遊園地の防災活用を考える懇談会の様子

川岸児童遊園地改善計画（素案）説明会

日時：平成25年2月16日（土）
14時～15時半

場所：川岸会館 1階 集会室

共催：川岸地区まちづくり推進協議会

川岸町会

協力：戸田市

- 内容：
- 川岸児童遊園地改善計画（素案）の紹介
 - （1）改善計画（素案）の作成趣旨と経緯
 - （2）改善計画（素案）の内容
 - （3）今後のスケジュール（予定）
 - 質疑応答

ご参加ください！



川岸児童遊園地改善計画（素案）の概要

※ ワークショップの成果をまとめたものです。これを踏まえ、戸田市が実現性について技術的な検討を進めます。
 ※ 掲載している写真は、川岸児童遊園地の現状写真以外はイメージ写真です。

改善イメージ(案)

①憩いのゾーン

道路に一番近くプールもあり、日常時も災害時も人や物が交流する場所

- プールの使い勝手の改善や防災利用の検討（特に技術的検討を要する）



- 制札版・案内板



- マンホールトイレの設置
- 路面はブロック舗装
- 樹木の整理（見通し確保）

②広場ゾーン

訓練、イベント、遊び、避難などで人が集まる場所

- 使い勝手の良い広い空間の確保



- かまどベンチ



- 広場ゾーンの樹木の整理
- 防災倉庫・備品の拡充
- ソーラー照明の設置 など

③緑のゾーン

防災・防犯・プライバシー（目隠し）など、緑の役割が発揮される場所

- ミニ花壇・ミニ菜園等（自主管理が前提となる整備）



④メインゲート

公園の顔となる玄関口
 ■車いすでも入れる出入口



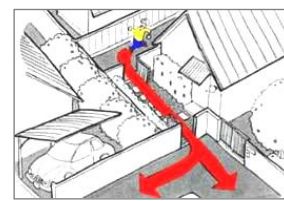
⑤前庭ゲート

市営住宅の敷地と連続し、空間的なゆとりを感じるゲート
 ■地被類や低木による境界部



⑥防災ゲート

二方向の避難経路を確保するゲート
 ■緊急時の通り抜け通路



改善計画(素案)の基本的な考え方

①川岸児童遊園地に必要な防災機能を備えた公園とする

【大切な視点】

- ・逃げ込める場所の確保
- ・震災後の一時的な被災生活を支援する防災施設の確保

②多世代のコミュニティ形成のきっかけとなる公園とする

【大切な視点】

- ・ちびっこプールの効果的な改善
- ・川岸児童遊園地ならではの個性づくり
- ・皆が参加したくなるイベントや訓練の企画開催
- ・公園改善を良いきっかけと捉え、地区住民や既存団体による自主管理活動や活発な利活用を通じたコミュニティ形成

③緑が活きる公園とする

【大切な視点】

- ・公園や住環境向上につながる緑の配置等の工夫

④周辺環境と調和する公園とする

【大切な視点】

- ・周辺からアクセスしやすい出入口の確保
- ・見通しや開放感のある雰囲気づくり



○地域住民が維持管理する公園とする

【大切な視点】

- ・維持管理活動による地域のつながり・交流
- ・災害時、防災施設を円滑・効果的に活用できる

防災施設の維持管理

防災施設の維持管理ってどんなことをするの？

【日常時のポイント】

- 防災施設がいざという時にすぐ使えるようにメンテナンスすること
- 事前に使い方を習得しておくこと
- 多くの人に防災施設の役割を知ってもらうために積極的に活用すること
- 維持管理活動を通じて地域住民や地域団体のつながりや交流を深めること

【災害時のポイント】

- 災害時に、円滑に効果的に活用できること

具体的な維持管理の検討はどうするの？

維持管理の体制と内容については、本方針の検討内容をたたき台として、地域事情を踏まえて、地域にあった、よりふさわしい形を一定の時間をかけて考えていくことが不可欠となります。

具体的には、平成26年度の公園竣工に向けて、来年度も引き続き、川岸町会と川岸地区まちづくり推進協議会の代表者による会議を定期的に関催して、その体制と内容の具体化を話し合います。



川岸児童遊園地の防災活用を考える懇談会の様子